

基本方針	取組み項目	施策事業	実施者	短期				中期				長期				
				2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030~2039	
① 豊かな水環境の保全	①-1 長期的な地下水かん養対策	地下水かん養対策の継続（水源かん養林整備事業、水田湛水事業、等）	市水保全課	事業継続												
		節水対策や雨水再利用などの持続的な啓発（グリーンインフラ導入の検討）	市水保全課	事業継続												
	①-2 水質の保全・改善	硝酸性窒素対策や地下水浄化対策の継続	市水保全課	事業継続												
		河川の水質調査の継続	市水保全課	事業継続												
	①-3 流域のつながり（水循環）	水源かん養林で育まれた間伐材を使用したベンチの設置	市水保全課、企業、市民	検討	設置	事業継続										
		上流域との交流イベントの実施（地下水を育む農産物や林産物の購入の促進）	くまもと地下水財団	事業継続												
	①-4 地下水のPR	地下水について学び・楽しめるガイドツアーの実施	くまもと地下水財団、市上下水道局	事業継続												
		地下水のめぐみ・大切さを伝える学習（講座、教材作成、サイン設置、等）	市水保全課	事業継続												
	② 生物多様性の保全と自然と人との共存・共生	②-1 自然環境の現状把握	生物の生育・生息状況調査の実施（他地域とのつながり）	市環境共生課、関連団体	調査	計画策定	モニタリング調査・計画見直し									
			生物の生育・生息環境の保全	指定管理者、ボランティア団体、企業、関連団体、市環境共生課	検討	モデル展開	事業実施・効果検証									
		②-2 自然環境の保全・再生	生物の生育・生息環境の再生	市環境共生課、関連団体	検討	モデル展開	事業実施・効果検証									
			外来生物の駆除（ボランティアの育成及び連携）	市環境共生課、指定管理者、ボランティア団体、企業、関連団体	検討	モデル展開	事業実施・効果検証									
②-3 外来生物の駆除（手法の検討）		外来生物の駆除（ボランティアの育成及び連携）	市環境共生課、指定管理者、ボランティア団体、企業、関連団体	検討	モデル展開	事業実施・効果検証										
		外来生物の廃棄方法の適正化（食品化、堆肥化、再利用）	江津湖周辺の飲食店、市環境共生課	検討・提携	事業実施											
②-4 自然と人との共存・共生・配慮のあり方（ゾーニング）	自然と人が共存・共生・配慮するゾーニングの設定	市環境共生課、関連団体	設計	整備	事業継続											
③ 歴史・文化の継承と活用	③-1 歴史的・文化的資源の保存と活用	旧砂取細川邸庭園の市指定文化財への指定と保存・活用	市文化振興課	指定	保存・活用											
		国指定天然記念物「スイゼンジノリ発生地」の保護	市文化振興課、ボランティア団体	事業継続												
		既存の文学碑を活用した魅力の発信	県立図書館、関連団体	調査	スキーム検討	事業継続										
		庭園文化を活用した魅力の発信	県立図書館、市文化振興課、関連団体、庭園管理者	現状把握・スキーム検討	事業実施											
	③-2 連続性・一体性の創出	ストーリー作り、それと連動した共通サインや照明灯の整備	県立図書館、市文化振興課、関連団体、企業	設計	整備	事業継続										
	③-3 散策ルートの設定と活用	散策ルートの設定と散策マップの作成・ガイドツアーの実施	県立図書館、市文化振興課、指定管理者、ボランティア団体、関連団体	スキーム検討	事業実施											
漱石を通じた歴史・文化の魅力発信		県立図書館	スキーム検討	事業実施												
④ 感じ・憩い・学び・発信する場としくみの整備	④-1 情報の集積	江津湖の歴史・文化遺産や環境に関する情報の集積	県立図書館、市文化振興課、市環境共生課、市水保全課、関連団体	情報収集・調査実施												
	④-2 魅力・価値の発信	江津湖の情報を集積・発信するビジターセンター（仮）の検討	関連団体、県立図書館、市環境共生課、市動植物園、市総合体育館	スキーム検討	モデル	事業実施										
	④-3 環境教育、体験型プログラムの整備	江津湖の自然に親しみ・楽しみ・理解する観察会等の実施	関連団体、指定管理者、市環境共生課、市動植物園、市水保全課	スキーム検討	事業実施											
		江津湖の魅力や価値を伝えるガイドマップや教材等の作成	市教育委員会、市環境共生課、県立図書館、指定管理者、関連団体	スキーム検討	事業実施											
	④-4 担い手づくり次世代への継承	自然観察会や歴史・文化巡りを通じて新たな担い手や語り部を育成	市環境共生課、市水保全課、関連団体、市民（周辺住民等）	現状把握・スキーム検討	事業実施											

市公園課

